



M30 RGB

洗練された繊細なデザインと大きなメッシュフロントパネルを携えた M30 RGB は、幅広い用途に使用できるケースです。あらかじめ装備された 120 mm の RGB PWM ファンが素晴らしい照明効果を生み出し、強化ガラスのサイドパネルからは広い内部を覗くことができます。M30 RGB の温度は、メッシュフロントパネルと、オプションでフロントパネルの裏側やトップパネルの下に設置できる 360 mm ラジエーターによって快適に涼しく保たれます。

特徴

ムードをかもし出す RGB イルミネーション

M30 RGB には、様々な冷却オプションが装備されています。ATX ケースには最大 7 台のファンを搭載可能。120 mm の PWM ファンがフロントパネルの裏側に、120 mm RGB PWM ファンがリアパネルにあらかじめ取り付けられています。RGB コントローラーを使ってケースの内部を照らすと、強化ガラスのサイドパネルを通して放射効果を見ることができます。

タイムレスなシンプルデザイン

マットブラック仕上げとミニマルなデザインで、M30 RGB はあらゆる種類のセットアップに適したタイムレスな外観です。広範囲に渡るメッシュのフロントパネルがシンプルなお外観にアクセントを加えています。丸みを帯びたエッジが繊細なデザインを強調すると同時に、フロントパネルからケース内に十分な量の空気を取り込むことができます。

簡単なオプションで水冷も可能

ハードウェアコンポーネントの冷却に空気よりも水を使うことを希望する場合、M30 RGB は水冷システムを装備させることが可能です。トップパネルの下またはフロントパネルの裏側には、360 mm ラジエーター用のスペースがあります。メインボードのサイズと RAM の高さに応じて、トップパネルの下に装備できるラジエーターとそのファンの高さは 5 cm ~ 20 cm になります。

期待を超える構造

さりげない外観の内部にはゆとりのある広いスペースがあります。寸法の大きなハードウェアも楽に取り付けることができ、強力なビルドを構築することができます。長さ最大 22 cm の電源ユニット、または 38 cm までのグラフィックカードをケースに取り付けることができます。M30 RGB には USB Type-C ポートが装備されており、最新のモバイルデバイスへの高速データ転送と最適な接続を実現します。

すっきりシンプル

M30 RGB なら、すべてのコンポーネントを簡単に取り付けすることができます。ハードドライブや SSD は簡単に電源トンネル内部またはメインボードトレイ裏側に搭載することができます。簡単にアクセスできるケーブル用通し穴を使うと、ケーブル配線の目隠しとなり、ケースの内部はすっきりと整頓された状態に保たれます。

仕様

製品名	M30 RGB
フォームファクタ	ATX, E-ATX
拡張カードスロット	7
内部塗装	✓
ツール不要の取り付け設計	✓
ケーブルマネジメントシステム	✓
サイドパネル	強化ガラス
重量	7.20 kg
寸法 (L x W x H)	45.7 x 22.0 x 48.8 cm

RGB 互換性

タイプ	アドレス指定可能
ポート	4
手動設定	14 モード
メインボードの互換性	MSI Mystic Light Sync, ASUS Aura Sync, Gigabyte RGB Fusion Ready, ASRock Polychrome Sync
RGB ピンアウト	5V-D-coded-G

最大ドライブベイ数

2 x 3.5" | 4 x 2.5"

I/O

Type-C (USB 3.2 Gen 2) (トップ): 1 | USB 3.0 (トップ): 2 | オーディオ (トップ): ✓

ファンの配置

フロントパネル	1x 120 mm PWM ファン (標準搭載) またはラジエーター* (オプション)
リアパネル	1x 120 mm アドレス指定可能 RGB LED PWM ファン (標準搭載)
トップパネル	3x 120 mm または 2x 140 mm ファン またはラジエーター* (オプション)

互換性

メインボード	Mini-ITX, Micro-ATX, ATX, E-ATX
グラフィックカード長さ最大	38.0 cm
CPU クーラー高さ最大	17.2 cm
電源ユニット長さ最大	22.0 cm
ラジエーターの高さ (ファンも含む)	Front: Max 6.0 cm Top: 5.0 cm - 20.0 cm**

パッケージの内容

M30 RGB, アクセサリーセット, マニュアル

EAN コード

M30 RGB 4044951037940

* 360 mm ラジエーターは、上部パネルもしくはフロントパネルに取り付け可能
** メインボードのサイズと RAM の高さによる



